

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第21報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
令和3年8月23日

1.最も数が多かった種類(優占種)

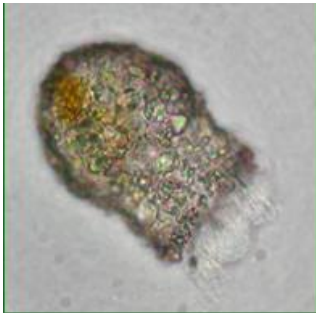
植物プランクトン第1優占種



Anabaena affinis
(アナベナ アフィニス)
藍藻綱

細胞は球形ないし樽形で、単独または束状の糸状体を形成する。異質細胞は球形であり、アキネートは楕円形である。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera
(スナカラムシ)
纖毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。殻の中に無色透明の纖毛虫が入っている。

2.計数された異臭味原因プランクトン



Phormidium tenue

コメント

植物プランクトンは藍藻に属するアナベナ アフィニス(*Anabaena affinis*)が先週に引き続き優占種となった。体積で見ると、同じく藍藻に属するミクロキスティス エルギノーザ(*Microcystis aeruginosa*)が優占種となった。網別の体積では、藍藻類が総体積の約70%、緑藻類が約12%、珪藻類が約11%を占めた。動物プランクトンは、纖毛虫類に属するスナカラムシ(*Codonella cratera*)が300個体/Lで先週に引き続き優占種となった。ピコ植物プランクトンは180,000細胞/mLとなり、輝橙色のものが95%、深赤色のものが5%であった。かび臭の原因となるフォルミディウム テヌエ(*Phormidium tenue*、物質:2-MIB)が40群体/mL計数された。

3.計数された主なプランクトンとその数(個体数)

(1)動物プランクトン

第 1 優 占 種		(個体/L)
纖毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	300

第 2 優 占 種		(個体/L)
ワムシ類	<i>Keratella cochlearis</i>	60

* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係

(2) 植物プランクトン

令和3年8月23日

第21報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	数		体積
		数	体積	
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	40		◎	
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	20			
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	100			
(藍) <i>Chroococcus dispersus</i> *	40			
(藍) <i>Aphanizomenon</i> sp.*	200			
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> *	20			
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	560	◎	○	
(藍) <i>Anabaena flos-aquae</i> *	40			
(藍) <i>Anabaena smithii</i> *	2			
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *★	40			
(藍) <i>Lyngbya</i> sp.*	20			
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	220			
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	14			
(珪) <i>Aulacoseira ambigua</i>	360	○		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	80			
(珪) <i>Stephanodiscus suzukii</i>	40			
(珪) <i>Stephanodiscus pseudosuzukii</i>	200			
(渦) <i>Peridinium</i> sp.	20			
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80			
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	40			
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40			
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	8			
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i> var. <i>fluvatile</i>	38			
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1			
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	22			
(他) <i>Merotrichia capitata</i>	20			
(藍) 藍藻綱	1082	47.8	70.0	
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0	
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0	
(珪) 珪藻綱	914	40.4	11.1	
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.9	1.5	
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	5.3	2.3	
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0	
(緑) 緑藻綱	109	4.8	12.2	
(他) その他のプランクトン	20	0.9	2.9	
総 細 胞 数	2265	総体積	6.14E+06	
種 類 数	26	(μm^3)		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)
ただし*印の種は群体数(群体/mL)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
注3) ★: 異臭味原因プランクトン
注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	180,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 μm (1 μm は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。